

# ADB - GEF 黄砂対策プロジェクトについて

## 1. プロジェクトの概要

国連環境計画 (UNEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)、国連砂漠化対処条約事務局 (UNCCD)、アジア開発銀行 (ADB) 及び中国・モンゴル・韓国・日本の4か国が共同で、GEF (地球環境ファシリティ) 及びADBの資金を活用し、黄砂対策関連情報の収集評価や黄砂対策マスタープラン作りに取り組むもの。

## 2. プロジェクトの内容

### (1) 実施期間

2003年7月から18か月間

### (2) プロジェクト実施地域

中国及びモンゴル

### (3) 参加機関・国

UNEP、UNESCAP、UNCCD、ADB及び4か国 (中国、モンゴル、韓国及び日本)

### (4) 実施内容

黄砂対策関連情報の収集評価

2003年～2010年をカバーする黄砂対策マスタープラン作り

- ・ モニタリング、早期警報ネットワークの確立に向けた段階的なプログラム
- ・ 具体的な実証プロジェクトを含む投資戦略

### (6) 資金規模

100万ドル (GEFの中規模プロジェクトから50万ドル、ADBの技術協力資金から50万ドル)

## 3. 各コンポーネント

上記の(4)の内容を実施するため、以下の2つのコンポーネントに分けて調査を推進。

モニタリングネットワーク及び早期警報 (UNEPが担当)

発生源対策及び投資戦略 (UNESCAP担当)

2004年8月現在、 についてはモンゴルにおけるライダー (レーザーを用いた黄砂観測機器。国立環境研究所が開発。) 設置を含むモニタリングネットワークに関する中間取りまとめが終了しており、現在、 についての検討が進んでいるところ。